

2024 年度前期 西南コミュニティーカレッジ

神学部提供



1) パレスチナ問題と宗教

講座内容

昨年よりパレスチナではイスラエル・ガザ紛争が起こっており、それにはルーツを同じくする3つの宗教（一神教）が影響を与えています。

今回神学部では、パレスチナの歴史に宗教がどのように関わって来たのかを振り返りつつ、平和を作り出すために宗教に何ができるのか、そのためのキリスト教の課題は何かについて、皆さんと共に考えたいと思います。

講座情報

講師	開催期間	受講対象者 定員	受講料	応募期限
黄 南徳 <small>ほか</small> 神学部 教授	6月3日～7月1日 毎週月曜日 18:30-19:30	一般 50名	一般 4,000円 (全5回分)	5月20日(月) 必着

講座責任者：西南学院大学 神学部長 才藤 千津子

必要な教材

特になし。講座内で使用する教材は講師がご用意いたします。

講座形式 オンライン形式 (Zoom)

コースのスケジュール

	開催日	内容・講義テーマ	
	6月3日(月)	オリエンテーション (初回講座開始 5分前より)	社会連携課
1	6月3日(月)	イスラエル・パレスチナの紛争の歴史	神学部 教授 黄 南徳
2	6月10日(月)	ヘブライ語聖書におけるイスラエル共同体 : 異なる者たちの共存	神学部 講師 藤方 玲衣
3	6月17日(月)	イスラム教から見たパレスチナ問題 ～忘れられた追放の記憶: イベリア半島の改宗者たち	国際文化学部 准教授 押尾 高志
4	6月24日(月)	ユダヤ教から見たパレスチナ問題	神学部 客員研究員 ジョナサン・マゴネット
5	7月1日(月)	キリスト教から見たパレスチナ問題	神学部 教授 濱野 道雄